

【主催】群馬県、前橋地方務局、群馬県人権擁護委員連合会、群馬県人権啓発活動ネットワーク協議会
【制作】NPO 法人たかさきコミュニティシネマ

群馬人権映画祭 オンライン上映会

Human Rights Movie Festa in Gunma

ヒューマンライツ・ムービーフェスタ in ぐんま

2022.2.6 [SUN]

オンライン開催

申込制：無料（先着 500 名限定）

申込方法：専用フォームからお申込みください。

申込締切日：2月1日（火）23:00 まで。定員に達し次第申込み終了

映画の配信は、お申込みいただいた方へ視聴方法を前日までに
ご案内いたします。



【配信作品】 2022年2月6日0:00から23:59まで限定配信

上映 1

第27回レインボー・リール東京～東京国際レズビアン&ゲイ映画祭～出展作品・群馬県出身監督
『虹色の朝が来るまで』今井ミカ監督作品（2018年63分）

上映 2

ショートムービーグランプリ優勝作品・群馬県出身監督
『父』今井彰人監督作品（2016年20分）

講演

14:00～15:00 今井ミカ監督講演

対談

15:10～15:40 今井ミカ監督・今井彰人監督による姉弟対談

※講演と対談はライブ配信を行います。（日本語・音声日本語）

オンラインにて上映を行います。申込方法や上映作品の詳細については、特設 WEB サイトにてご確認ください（右記 QR コードまたは以下の URL からアクセスいただけます。申し込みフォームから必要事項を入力・送信後、受信確認で返信メールをお届けします。お申込みから3日経っても返答がない場合は たかさきコミュニティシネマまでご連絡ください。

<https://hrmf-gunma.com/>



【お問い合わせ先】 企画に関するお問い合わせ：群馬県生活こども部生活こども課人権同和係 TEL.027-226-2906 / seikatsuka@pref.gunma.lg.jp
作品や申込に関するお問い合わせ：たかさきコミュニティシネマ（シネマテークたかさき） TEL.027-325-1744 / info@hrmf-gunma.com

Human Rights Movie Festa in Gunma

群馬県では、同和問題をはじめ、女性に対する暴力、いじめや児童虐待、高齢者や障害者、外国籍の人に対する偏見や差別、インターネットによる人権侵害や LGBTQ 等の性的少数者に対する偏見や差別、更には新型コロナウイルス感染症に関連した不当な差別などをなくすため、さまざまな啓発活動を行っています。

今回、映画を通じてそれらの人権課題への理解を深めていただくことを目的として、「ヒューマンライツ・ムービーフェスタ in ぐんま」を開催します。

本県伊勢崎市出身の映画監督、今井ミカ監督の作品「虹色の朝が来るまで」の上映及び講演のほか、弟で同じく映画監督の今井彰人監督の短編「父」の上映、姉弟の対談を内容としてオンラインでご視聴いただけます。

今井ミカ監督は、ろう者及び性的少数者の当事者として、映画制作をはじめとした数々の表現活動を続けられています。本イベントでは、同監督の初長編劇場作品の上映及び講演を通じて、当事者の想いや社会に知ってもらいたいことなどを伝えていただきます。

また、弟である今井彰人監督も、ろう者の視点から様々な表現活動を続けられており、今回、短編作品の上映と対談への参加でご協力をいただきました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン開催となりますが、多くの方にご参加いただき、改めて「人権」について考え、理解を深めていただければ幸いです。

『虹色の朝が来るまで』 今井ミカ監督作品 2018年 63分 16:9 カラー 日本手話・日本語字幕



ありのままの自分でいたい。ありのままに生きていたい——
群馬の手話サークルで知り合ったろう者の華とあゆみ。華は初めて同性に惹かれ戸惑うも、あゆみと交際することになる。後日、華は実家へ帰り、両親にあゆみとの交際について話すと、いつでも味方だった母親から拒絶されてしまう。母親の態度に華はショックを受けるが、あゆみとの関係を断ち切ることがどうしてもできない。苦しんでいる華を見かねたあゆみは、東京で開かれる“ろう者の LGBTQ イベント”に華を誘う。そこには、悩みを抱えつつも前向きに生きる、ろうの LGBTQ の人たちが集っていた。それぞれが今まで乗り越えて来た苦難を聞くうちに、初めは緊張していたふたりも、次第に心を開いていく...
監督・脚本・編集：今井ミカ | 撮影：湯越慶太 | 音楽：門傳一彦
出演：長井恵里 小林遥 玉田由 佐藤有菜 ノゾム 菊川れん 高木里華 太田辰郎 ほか
提供：シュアール | 企画・制作：JSL Time
配給・宣伝：フィルモット



今井ミカ (映画監督、プロデューサー、手話監督)

群馬県出身。第一言語が日本語と異なる言語の日本手話でろう者。映画監督。

大学で映像制作を中心に学び、手話言語学を学ぶため留学。シュアールグループで「手話で楽しむ生きものずかん」など、娯楽を通じ手話やろう文化を普及する活動や、映像制作を手掛けている。2018年初めて音響をつけた映画『虹色の朝が来るまで』が話題となり、2019年11月に劇場一般公開。最新作『ジンジャーミルク』が、2021年12月の東京国際ろう映画祭にて上映。

『父』 今井彰人監督作品 2016年 20分 日本手話・日本語字幕



ろう者で俳優の遠藤。公演を控えている中、介護施設から「最近お父様が外出しがっています。1日だけでもいいので、どこかへ連れて行ってあげてください。」と一通のメールが届く。遠藤の父もろう者で、父が認知症を患ってから距離を置いていた。介護職員からのメールがきっかけで、公演のリハのため渋谷劇場へ連れて行くが、父の思いがけない姿を目にする遠藤。ろう者の映画監督今井彰人が制作、出演する、音の無い世界。

監督・脚本・編集：今井彰人
ショートムービーグランプリ優勝作品・群馬県出身監督

今井彰人 (俳優、映画監督)

主な出演作は、日本ろう者劇団創立 30 周年記念公演「エレファントマン」主演、日本ろう者劇団「次郎対武蔵」主演、NHK E テレ「みんなの手話」スキット出演など。

2009年に群馬県立ろう学校卒業後、淑徳大学入学と同時に日本ろう者劇団へ入団。俳優として舞台をはじめ、テレビや映画など出演し、その他にも映画監督や手話指導等、幅広く活躍中。

